

# スパンシールRタイプ 地中外壁貫通管 標準施工要領

早川ゴム株式会社

スパンシールRタイプは、非加硫ブチルゴム系の止水材で、生コンクリートと反応接着する機能により躯体に追従し止水効果を発揮します。

## \* 適応範囲 \*

1. 鋼 管 2. S U S 管 3. ヒューム管 4. 塩ビ管

## \* 製品規格寸法および梱包形態 \*

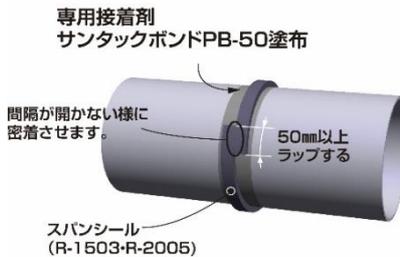
製品規格寸法	梱包形態
スパンシールR1503 (15t×30w×4050L)	4m×4巻
スパンシールR2005 (20t×50w×3050L)	3m×3巻

・管底部の生コンクリートの沈下や施工後のクラック発生の可能性が考えられる場合は、R2005または2列巻きでご使用下さい。

## \* 作業手順 \*

- 下地処理: ワイヤブラシ又はサンダーを使用し、管表面の汚れおよびうき錆等を取り除く。また、油分もウエス等で拭き取り、十分に乾燥させる。
- 接着剤の塗布: 接着剤サンタックボンドPB-50(1kg/缶)を管の地肌が見えなくなるまでむらなく塗り、よく乾燥させる。塗布幅はRタイプ以上の幅を基準とする。※施工誤差を考慮し、+20mm程度を推奨
- スパンシールRタイプの貼り付け: 接着剤を指で軽く押して“指に付着しないが粘着を感じる”程度に乾燥した事を確認した後、スパンシールRタイプを適切な長さにハサミ等で切断し張り付け圧着させる。(ラップは50mm以上とする)
- 離型紙の除去: 型枠に管を設置した後、コンクリート打設前に必ず表面の離型紙を取り除く。

### ● 貫通管廻りの止水工法(1列巻き例)



施工イメージ図

## \* 施工上の注意事項 \*

Rタイプ施工面は十分な清掃を行い、油分、汚れ、うき錆等を取り除く。接着剤サンタックボンドPB-50は、使用前によく攪拌してから使用する。接着剤の塗布不足および圧着不足は、施工後に脱落等の可能性がある為十分に注意して施工する。2列巻きで使用する際の製品同士の離隔や鉄筋からの離隔については、コンクリートが十分に充填される距離を確保するよう考慮して施工する。

## \* 使用材料 \*

材料	品名	規格	梱包
スパンシール	R-1503	15t×30W×4,050L	(4巻/ケース)
スパンシール	R-2005	20t×50W×3,050L	(3巻/ケース)
接着剤	サンタックボンドPB-50	1kg/缶	(4缶/ケース)